

研究指導の概要

■ 知能機能システム学位プログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A 知能機能システム特別研究A（通年）：知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導するとともに、研究に必要な専門知識や倫理的知識を教授する。受講者は指導教員の指導に基づいてセミナーでの研究発表を行うと共に、異分野の教員から専門知識の教授や研究指導を受ける。これらを通じて、知の創成力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力、国際性を養う。
		B (春学期) ■ 指導教員の下でのディスカッション等を通し、研究テーマ決定等を実施 □ INFOSS情報倫理を受講
		C (秋学期) ■ 研究実施 ： 指導教員の下でディスカッションその他を通して研究を進行
	秋	A ■ 大学院セミナーでの研究発表 (3年間のうちに随時)
		B □ 国際会議での研究発表 □ 学術雑誌での論文掲載
		C
2 年 次	春	A 知能機能システム特別研究B（通年）：知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導するとともに、研究に関する専門知識や倫理的知識を教授する。受講者は指導教員の指導に基づいてセミナーで研究成果を発表するか、高レベルの学術雑誌または国際会議で発表した論文の評価を受ける。これらを通じて、知の創成力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力、国際性を養う。
		B (春学期) ■ 研究実施 ： 指導教員の下でディスカッションその他を通して研究を進行
		C (秋学期) ■ 研究実施 ： 指導教員の下でディスカッションその他を通して研究を進行
	秋	A ■ 大学院セミナーでの研究発表 (3年間のうちに随時) □ 国際会議での研究発表 □ 学術雑誌での論文掲載
		B
		C

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
3 年 次	春	A	<p>知能機能システム特別研究C（通年）：知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導するとともに、研究に関する専門知識や倫理的知識を教授する。受講者は指導教員の指導に基づいて研究成果をまとめ、それが博士(工学)の学位論文の内容にふさわしいかどうかの評価を受ける。これらを通じて、知の創成力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力、国際性を養う。</p>
		B	<p>(春学期) <input checked="" type="checkbox"/> 研究実施</p>
		C	<p>: 指導教員の下でディスカッションその他を通して研究を進行 <input type="checkbox"/> INFOSS情報倫理を受講</p>
	秋	A	<p>(秋学期) <input checked="" type="checkbox"/> 予備審査実施 <input type="checkbox"/> 学位論文の公開審査および達成度審査により、修了要件を確認する</p>
		B	<p>(3年間のうちに随時) <input type="checkbox"/> 国際会議での研究発表 <input type="checkbox"/> 学術雑誌での論文掲載</p>
		C	